

Partial English Translation of

Publication No. 61-056310A for UM

Claim

A belt for roller conveyor, in which sailcloth is deposited with an adhesive layer interposed thereamong, wherein

uppermost sailcloth in contact with a roller for carrier is flat-woven sailcloth having a half-mat structure, in which a warp is formed of two twisted treads and a weft is formed of one twisted thread.

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭61-56310

⑪ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和61年(1986)4月15日

B 65 G 13/07
F 16 G 1/04
// B 65 G 15/34

7816-3F
8312-3J
7816-3F

審査請求 未請求 (全1頁)

⑭ 考案の名称 ローラコンベヤ用ベルト

⑮ 実 願 昭59-140270

⑯ 出 願 昭59(1984)9月14日

⑰ 考 案 者 山 本 和 幸 小牧市大字北外山字哥津3600 東海ゴム工業株式会社内

⑱ 出 願 人 東海ゴム工業株式会社 小牧市大字北外山字哥津3600

⑲ 実用新案登録請求の範囲

接着剤層を介して帆布が積層されてなるローラコンベヤ用ベルトにおいて、

搬送用ローラと摺接する最上層の帆布を、撚糸2本を引揃えてタテ糸、撚糸1本をヨコ糸として平織り状に織成したハーフマツト構造の帆布としたことを特徴とするローラコンベヤ用ベルト。

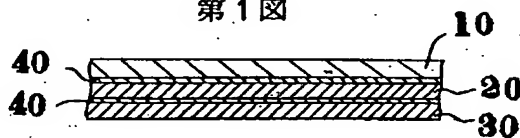
図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例を示すベルト長手方向

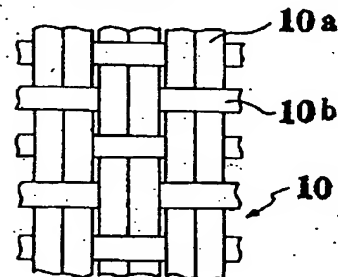
部分断面図、第2図は本考案に用いるベルト最上層帆布の織成構造(ハーフマツト織り)を示す部分平面図であり、第3図乃至第4図はベルトの使用態様を示す概略説明図であり、第5図は従来例に用いたベルト最上層帆布の織成構造(平織り)を示す部分平面図である。

10…最上層帆布、10a…タテ糸、10b…ヨコ糸、20、30…抗張力芯体帆布、40…接着剤層、50…ベルト。

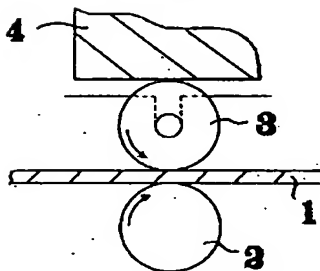
第1図



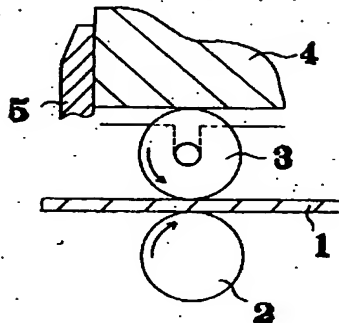
第2図



第3図



第4図



第5図

